

## 作文募集

### 新しい時代の新しいライオンズ活動方針

ACTについての建設的な意見を作文募集致します。メンバー各位  
ふるって応募期待致します。

——昭和61年10月30日迄——

審査の結果、次回の陵東に掲載致します。

情報PR委員会

## 〔第25回 OSEAL フォーラム・ソウル大会に参加しよう〕

- ☆開催地 大韓民国ソウル特別市  
☆開催期日 昭和61年10月31日(金)~11月2日(日)  
☆大会日程  
☆大会会場 ソウル総合運動場蛋室(チャムシル)室内体育館  
☆本部ホテル 新羅ホテル  
☆大会登録料 男性……US \$ 90.00 女性……US \$ 85.00  
☆フォーラム・テマ—  
平和と調和  
☆パネル・ディスカッション・テマ—  
トピック1:国際プログラム  
トピック2:東洋東南アジア地域に於けるライオンズの奉仕活動の現況  
及び共通の改善方法  
トピック3:ライオンズの資質向上と新会員による補強  
——会員の高い退会率を減少させるには——  
会議では日本語の同時通訳が行なわれます。

## あ と が き

陵東誌「第19号」を発行するはこびになりました。これも偏にメンバー各位はもとより編集取材関係でご協力、ご支持を賜りました皆様方のお陰とお礼申し上げます。この紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げますと共に、次号も合せてお願いします。

情報PR委員会 委員長 L.中村宗三  
L.石川 尹 L.野里 勇  
L.中尾啓吾 L.森村敏弘

# 陵東

## 堺陵東ライオンズクラブ誌

- 事務局 〒590 堺市戎之町西1丁1番23号(堺商工会議所3F)  
電話 (0722) 23-0567  
例会日 毎月第2・第4水曜日 午後6時15分~7時30分  
例会場 堺商工会議所5階大ホール 電話(0722)38-5581(代)  
結成日 1972年8月26日  
結成順位 302・No.1705 W-A地区 No.112  
スポンサー  
クラブ  
チャーター  
ナイツ  
会 員 数 65名



19号

1986.7~1987.6

目次

スローガン・モットー・ライオンズの誓い・国際会長テーマ ..... 1

会長就任ご挨拶..... 会長 L.金澤正次..... 2

一年間の重責を終えて.....前会長 L.河原義次..... 3

奉仕に情熱を.....第一副会長 L.川井敏弘..... 4

“今!!この時、メンバー総力を結集しよう.....第二副会長 L.大門 徹..... 5

努力あるのみ.....第三副会長 L.三原宏巳..... 6

一本の明かり.....幹事 L.村田義光..... 7

大任をお引受けして.....会計 L.橋本博文..... 8

家族例会・納涼例会フォト集..... 9

作品募集・第25回フォーラム・あとがき

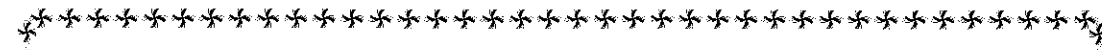


ガバナーズスローガン

**「豊かな心で愛の奉仕」**

会長スローガン

**「友愛と親善・理解と奉仕の輪」**



スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety

(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)

(1919年 シカゴ 第3回国際大会においてL.ハルステット・リッター提唱)

モットー

We Serve

(われわれは奉仕する)

ライオンズの誓い

330, 331, 332, 333, 334, 336, 337複合地区

われわれは知性を高め、友愛と寛容の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する

(1960年 5月 新潟市 第6回年次大会採択)

335複合地区

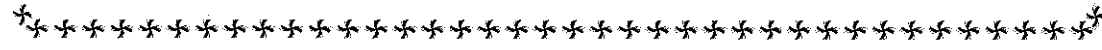
われわれは知性を磨き、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進します

(1980年 5月 龍野市 第26回複合地区大会改正)

国際会長テーマ

Bring Quality To Life

(豊かさに質と心を)





## 会長就任ご挨拶

会長 L. 金澤正次

この3月、神谷委員長より会長に指名推薦されましたことは、私にとって全く予期せぬ出来事でした。このような大役をお受けする訳にも行かず、責任をもって適任者をお探し致しましょうということで、前会長の河原氏と共に、2、3の適任者をお願いしてまいりましたが、事情があって今年はどうしてもお引受けできないということでした。そうこうする内に4月に入り、会の運営上支障を来たしては、私自身としても申し訳なく、意を決し、会長の大役をお受けする決心をした訳でございます。

そうして、4月の終り頃から組織作りを始めた訳でございますが、7月の第1回の例会までの短い期間、何も分らないままに出発、この様な経過に於て、委員長を初め、役員そして会員の皆様方に何かとご迷惑をお掛け致しましたことに対しまして反省いたしますと共に心から深くお詫び申し上げる次第でございます。

私自身、もとより微力ではございますが、大役といえども、一担お受け致した限りは、誠心誠意陵東クラブのためにつきましましては勿論のこと、対外的な面に対しましても汚名を残さぬよう一生懸命頑張る所存ですので役員諸氏並びに会員の皆様方の絶大なご支援とご協力を衷心よりお願い申し上げます。

さて、過日、7月9日の例会におきましては、会長に就任いたしまして、私自身、第1回目のゴングを鳴らした訳でございますが、これ迄、何気なく耳にしていたゴングの音が、その時ほど重圧感を覚えたことはありませんでした。

そして、約10分間の時間を頂戴し、今年度の運営についてのご協力方の要請、また会長としましての方針等申し上げた所でございますが何分にも始めてのことでもあり、終始緊張のしどろしどろでした。思い起しますとき、これ迄、月2回の例会に出席し何となくゴングを聞き、君が代そしてクラブの歌を合唱、食事を共にし、時にスピーチを聴き、最後のゴングを合図に散会、このパターンに於て、何となく、この13年間を過ぎて来た様な気が致します。

会長に就任し、はじめて、歴代の会長、幹事を始め役員諸氏のご苦勞の程が身に沁みる思いでございます。

したがって、せめてこの1年間、一生懸命頑張る、陵東クラブの名にはじることのないよう役員諸氏共々力を合わせ、でき得るだけ、皆様方のご期待に沿うべく努力してまいりたいと考えますれば、尚一層のご支援ご協力を切にお願い致しまして、一言ご挨拶申し上げます。



## 一年間の重責を終えて

前会長 L. 河原義次

過ぎ去った一年をふり返って見ますに、いろいろの出来事がありましたが、何分にも、私自身、力不足のため、メンバー皆様になんか、ご迷惑をおかけしたことを、先づもって深くお詫び申し上げます。

然しながら、理事役員の皆様を初め、メンバー皆さん、一人一人の寛容の精神で暖かいご協力と、力強いご支援によりまして何とか一年間の重責を終えることができ、心から厚く感謝とお礼を申し上げる次第でございます。

さて、「友愛の心で広げよう、奉仕の輪」をスローガンとしてスタートしました一年でありましたが、特に思い出として、波佐見ライオンズクラブとの合同家族例会が盛会裡に終了できましたこと、それから毎例会の実出席率が著しく向上しましたこと、更に第37回全国植樹祭が開催された堺市大仙公園に、335B地区合同で「緑の鐘……カリヨン」が本年度地区広域A.C.Tとして設置されたこと、これは私共陵東ライオンズクラブが先頭に立って推進し7リジョン合同提案とし進めた結果であり、私としては終生忘れることのできない喜びであり、これ等の総べてはクラブメンバー皆様方のご支援の賜であります。

こうして喜びと反省が交錯しながら、私の任期も終り、これからは一メンバーとして、これまでお寄せ下さいました、友情とご協力に対し吾が陵東ライオンズクラブのため微力ながら尽したいと考えています。

尚、土井幹事並に事務局の岡本さんには誠心誠意クラブのためご努力願ひ大変ご苦勞をかけました。厚く感謝を申し上げます。

以上甚だ簡単ですが一年間のご協力に対し重ねて、感謝とお礼を申し上げ陵東ライオンズクラブの益々のご発展をお祈りいたします。



## 奉仕に情熱を

第一副会長 L. 川井 敏 弘

第一副会を担当致します、L. 川井でございます。

先ず第一副会の本年度のクラブ運営計画の概略を申し上げます。

何と申し上げましてもクラブの運営上、最も考慮しなければならないことは、国際協会会則第11条に示されて居ります通り、ライオンズクラブ会員である以上、先ず例会に規則正しく出席することに、つとめるべきであると云うことでございます。先程申し上げました会則第11条には、厳しく会員としての義務も明記されて居ります。

歴代の出席委員長の各ライオンも、この点に就きまして最大の努力を続けてまいりたいと思ひます。

出席委員会としての運営基本方針は申す迄もなく100%実出席を目標と致しますが、万一やむを得ぬ事情で例会に欠席された場合は、メイクアップ規則の厳正な適用をして参りたいと思ひます。

新入会員増員に関しては、会長方針に従い、理事会の承認を得て、本年度は1名でも多くの会員増強計画を致して居ります。

財務委員会の任務は申す迄もなくクラブ運営予算案の編成と、今一つ重要なことは事業委員会の大いなる活躍を推進するための適切なる財源措置を講ずることも任務の一つでございます。

各事業委員会と密接なる連絡を保ち、クラブ運営予算を作成して戴きます。

第一副会所属の各運営委員会の任務は、それぞれクラブ運営上最も大切な任務をもつ、委員会構成でございますが、先程も申し上げました通り吾が堺陵東ライオンズクラブも、クラブ結成以来、早や14年を迎えようと致して居ります。結成当時の国際情勢、或いは国内に於ける経済状態も激変致して居ります。

この状況変化を考えます時、クラブ運営も時代の変化に対応した運営方法をとるのも大切なことと強く考えざるを得ません。

ライオンズ必携にも計画委員長には適任者を選任せよと強調して居ります。

各メンバーにおかれましても愈々相互理解の精神を発揮され、益々堺陵東ライオンズクラブの発展とクラブ内部の一層の充実に力を傾注して戴くことを心からお願い申し上げ、新任のご挨拶と致します。



## “今!!この時”、メンバー総力を結集しよう

第二副会長 L. 大 門 徹

ライオンズクラブの最大の目的は奉仕活動である!! このような話は胸にL字のラベルボタンをつけている同志ならば誰だってわかっていることである。処が地域社会の人々は本当に我々のこのような行動を、我々が自賛し誇りに思っている程理解してくれているだろうか、別に世の中の人々から特別な感謝や、感情の目で見えて頂くなど夢々思い上った気持はないけれど、少々金が出来、立場の確立した連中が集って、自分を満すために、何かをやっているんだと、まさかそんな方々はおらないと思うけれど、例え少数の極一部の方にでもそんな考え方の人がいるとするならば、本当に情けない思いをする。私もライオンズクラブに入会させて頂いてもう12年にもなりながら、日常のクラブ活動は別として、本来の目的、創設者の真意は良く分らないけれど、人間此の世に生を受け、自分の職業にも、家族にも幸せを感じ、かつ健康的にも恵れた時、世の中の光の当らない、恵みの少ない方々に、自分達の力の範囲で、自分達の手で、世の中に感謝の気持をこめてご恩返しをしよう。

それが本当の奉仕ではないかと思う。平素必携も余り読まない私が偉そうなことを云って申し訳ないと思ひますが、思いつくままに筆を走らせているのでお許し下さい。私は地域社会の方々に、そんな点を良く理解してほしいし、そのための努力を今年度の最大の目標に考えております。ライオンズクラブはルールもきびしいし、何々な意味でライオンズマンとしての厳しい制約もあります。しかしこれは国際協会としてさまざまな国の民族性の異なったメンバーの集りであるから、その国で、その地方で拡大解釈をすると大変なことになるのでルールだけは正しく守っていかねばならないし、それがまた互が社会の指導者的立場にある者の一人として当然の義務であるのではないかと思ひます。本年度も金澤丸が出港致しました。会長L金澤の方針通り、第三副会の総意ですばらしいACTをして頂き、我々第二副会は、そのACTについての本意とライオンズ活動の意志を正確に、地域社会の方々に、色々な方法と努力によってPRしてゆきたいと考えております。今一つ昨年から問題となっております、男女雇用均等法案に絡んでかと思うのですが、国際大会後、入会条件の中から男子のみと云う文字が消えるとゾーンから伝って来ております。此の問題も色々な角度から考えてみても大変取扱のむづかしい問題でありますので、我がクラブとしてどう取扱ってゆくか慎重に会則委員会でご検討を急いで頂こうと考えております。いづれに致しましても、浅学非才、力不足の私でございますのでこの一年メンバー各位のご支援とご協力、謹んでお願い申し上げます。



## 努力あるのみ

第三副会長 L. 三原 宏 巳

指名委員長からの御要請でお引受けしたものの、本当に務まるのかどうか不安な気持ちでいっぱいでした。あわてて平素は見もしない必携を開いてみたものでした。

会長の方針をお聞きし、その枠をこえない様にするつもりですが、ACTにつきましてはメンバーのお気持ちにすぎる他ありません。ただその内容につきましてはあまりこまかくせず、思い切ったものを考えたいと思っております。又、本年はレオクラブのスポンサークラブの当番にあたっておりますので、若い彼等に暖かい眼をそそいでいきたいと思っております。

その他、献血、耳の日、派遣ユース等々盛りたくさんな行事がありますが、何しろ私が担当するものですから「乞御期待」という様なわけにはいかないかも知れませんが、努力はしてみます。この一年間メンバーの皆さんの絶大な御協力をお願いします。



## 一本の明かり

幹事 L. 村田 義 光

「照于一隅此即国宝」伝教大師のこの言葉は、社会の片隅を照らす人間になれ、という意味でしばしば引用されるが、私は「ライオンズの光」の詩もこよなく好きである。

一本の明かり 一本の小さな明かり  
それはわずかに身の廻りを照らすにすぎない  
しかし幾千万と集まれば 影と闇とをなくする巨大な光明となるにちがいない  
.....

以前、ある新聞に、シカゴ本部へ行ったライオンが「タクシーに乗って運転手にチップを渡すと、ドネーションと言って小さな箱にそれを入れた。聞くとライオンズメンバーでチップはすべてこうしているという。この時自分が恥ずかしくなり、日本のライオンズのあり方をもう一度見直さねばとつくづく思った」と語っていたのがとても印象的に思い出される。ここに一本の暖かい明かりが点灯している状況がふつふつと伝わってくる。これこそライオンズの原点であると思う。

シカゴにライオンズクラブが誕生して68年、東京に日本最初のライオンズクラブが生まれて33年。その間に、世界は目まぐるしく揺れ動き、日本も大きく変貌した。われわれを取り巻く環境も物質的豊かさから心の豊かさが求められる時代に入って久しい。こうした変化の中でライオンズクラブも、時代に即応した活動を求めてきた。しかし、ともすれば建前主義、形式主義、事大主義そして事なかれ主義が跋扈していることも否定できないのではないだろうか。われわれは一日も早くこのような弊害を払拭するとともに、巷間誤り伝えられているライオンズの評価を改めるよう積極的に熱意を傾倒しなければならない。そのためには今一度ライオンズの原点に立ち返る必要があるように思う。アメリカの元大統領カーターは、ハイスクールの先生から「われわれは変りゆく時代に適応しなければならないが、さらにまた、不変の原則を堅持しなければならない」との言葉をたたき込まれたと就任演説で述べている。

さて、早いもので私のクラブ在籍も8年5ヵ月となりました。入会以来これといった活動もせず会員諸兄の後塵を拝してきました。この度、はからずも幹事の指名を受けました。微力ではありますが、この一年間精一杯情熱を傾注する所存ですので、皆様のご指導とご協力を戴けますよう切にお願い申し上げます。



# 大任をお引受けして

会 計 L. 橋 本 博 文

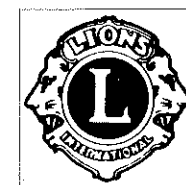
歴史ある当クラブのなかにあって、年こそとってはいるものの、僅か数年の経歴にも拘らず、今回はからずも会計という大役をお引受けさせていただいた事は、身に余る光栄と自覚を新に致しております。

ふりかえって見ますと、私位幸運な会員も少いのではないのでしょうか。その第一は、L. 大門という最良の一人をスポンサーに持つ事が出来たことで、感謝の念を深め、毎日恥じない私でありたいと努力を忘れておりません。

一昨年は社会福祉委員長を経験致しましたが、L. 大門が副委員長を担当戴き、あらゆる勉強とご相談にあずかって戴き、公式訪問時にパネルディスカッションを開催出来た事は、当時の神谷会長、梅田副会長の顔と共に、ライオン歴を通じて、終生忘れることの出来ない思い出になることを信じてやみません。

昨年度は更に大事な財務委員長を務めさせていただきましたが、予算編成時には前任のL. 志摩のご協力が、私の作業上大いに勇気づけていただいた事も事実でした。更に財務の執行については、ベテランのL. 中辻を副としてサポートいただいた事がどれだけ嬉しかったか知れません。

このように未熟な私が成長して行く為には、会員の皆さんを良き師と仰ぎ、ライオン必携を範として今後も努力を重ねて行きたいと念じて居りますれば、何卒この一年間も会計の私をご鞭撻ご指導賜り度く、お願い申し上げます。



▲家族例会であいさつする  
会長 L. 金澤

▼納涼家族例会でおどりを披露



▲納涼家族例会に於て  
カラオケを歌う

▼楽しい納涼家族例会にレオクラブ13名迎えて

